

こうち福祉だより

344号
平成28年3月
(2016年3月)
河内地区社会
福祉協議会発行

芸能祭に寄せて

千蔵さんの遺徳を繋げて

「千蔵さんのぞうりだけ、見つかったぞうな。」

「自分のことより、みんなを助けてくれた千蔵さん。」

この言葉は、今年の「河内地区芸能祭」の音読ソロチームと3年生のせりふでした。この発表で、11月に青少年センターで行われた「文化の祭典」音読の部で最優秀賞を、3年連続でいただきました。

また、2年生はSST48(シンガー・ソング・トウギャザーフォーティエイト)と、名づけたコーラス隊を結成して、敬老会同様に感謝の気持ちを音楽で表しました。さらに、ソーランや空手、神楽、太鼓団からの参加の児童もたくさんいました。

これらの経験は、国語科や



↑3~6年生の音読劇

↓こうちいず・児童館児童



感謝と感動の河内芸能祭

こんにちは じどうかんです。今年も「河内芸能祭」に、子ども達が「ソーラン踊り」で出演させて頂きました。本番の日が近づくとつれて「どっこいしょ!どっこいしょ!ソーラン・ソーラン!」などの掛け声は、日毎にパワーアップし、元気な声は気迫のこもった逞しい声に変わっていききました。また、ソーランの曲に乗り、心をひとつにして仲間と共に踊る楽しさは喜びに変わっていったようです。

さて、今年は昨年に比べ出演希望者が倍近くになり、子ども達の積極性を嬉しく思う反面「全員が舞台上上がって踊るのは難しいかも」と心配でした。しかし、「こうちいず」の方から「一部の子どもを二世交代の舞台上に上げたら」と温かい言葉を掛けて頂き、河内の健康活動に取り入れられている「座・ソーラン」との共演が実現しました。10名の1年生と一緒に踊って下さったのは普段から工作行事等で子ども達を支えて下さっている方々です。子ども達はさぞかし心強かったことでしょう。なお、2年生以上は経験者も多く、お兄さんお姉さんらしく堂々と踊ることができました。地域の皆様方の支え、また、当日の手拍子や拍手が大きな大きな力になったようです。本当にありがとうございました。

河内児童館 原田由美子

←岡野さんのハーモニカの音にのせて、会場みんなが口ずさみました。(小学校の校歌も歌えました!)



→書道詩吟。西田さんの解説に会場が笑いに包まれました。



「こうちの桜の開花状況を発表します。『こうち桜前線』です。お近くの桜の蕾がほころびかけたら、ご一報ください。」

3月の行事

- 1日(火) 転倒予防教室 (魚切)
- 7日(月) 売却資源ゴミ収集日
- 11日(金) まごころ弁当
- 15日(火) 転倒予防教室 (魚切)
- 16日(水) 社協部長会・会報委員会
- 21日(月) ①売却資源ゴミ収集日
②編集会議
- 22日(火) 編集会議
- 25日(金) まごころ弁当
- 29日(火) 転倒予防教室 (魚切)

